

優しき
 奥村優太
 夏休みの半ばにあつた出来事は僕を麥えて
 くれました。夏休みに僕はどこにも遊びに行
 きませんでした。全くおもしろくない夏休み
 でイライラしていた僕は、あまり周りの人に
 優しくできませんでした。人に優しくすると
 今度は相手が優しくしてくれらると知っていた
 のに、できませんでした。そんな毎日を過ごして
 いたある日のことでした。部活動の帰りにいきなり土砂降り
 の雨が降ってきました。けれど僕は、「明日、部活ないし、
 風邪ひいてもいいや。」と思つていました。今
 思うと自分にも優しくできない自分は馬鹿だ
 と思ひました。そんなとき、後ろから「僕、僕」
 と聞こえてきました。振り返るとそこには五
 十代くらいのおじさんがいました。おじさん
 の手には傘を持っていました。おじさんは近

づいてきて、
 「この傘使いい」
 と言ってくれました。
 「家そこやから、玄関にでもおいといて」
 と言つて帰つていきました。その傘はちよつ
 と古くて破れもあつたけれど、何だかほのぼ
 のした気持ちでした。次の日、僕は傘を返そ
 うと借りたところに行きました。けれど、家
 が分かりませんでした。そこで、細い道に入
 った家を探しました。すると、おばあちゃん
 が僕に
 「どうしたの？」
 と尋ねてきました。僕が訳を話すと一緒に探
 してくれました。四軒目ぐらいでやつと見っ
 かりました。僕は、おじさんにもおばあちゃ
 んにもお礼を言つて、家に帰りました。その
 日から僕はまた、周りの人に優しくできるよ
 うになりました。
 以前、テレビで恩送りという言葉を聞いた
 ことがあります。恩返しは借りた恩をその人

に	返	す	こ	と	で	す	が	、	恩	送	り	は	も	ち	っ	た	恩	を	別
の	人	に	送	っ	て	い	く	こ	と	な	の	で	、	ど	ん	ど	ん	優	し
さ	が	広	が	っ	て	い	き	ま	す	。									
	僕	は	こ	の	出	来	事	で	、	ま	た	周	り	の	人	に	や	さ	し
く	で	き	る	よ	う	に	な	り	ま	し	た	。	ど	こ	か	に	遊	び	に
行	く	よ	り	も	良	い	経	験	が	で	き	ま	し	た	。				

20 × 20